		等専門学村	交 開講年原	度   平成30年度 (	2010+12)	) JX	業科目	ドイツ語 Ⅱ	
科目基础	礎情報								
科目番号	ļ	30G51	l1			科目区分 一般 / 分		訳	
授業形態	{	授業		単		と単位数 履修単位:		1	
開設学科	B学科 一般科目		·目			5			
開設期	役期 後期						2		
教科書/教	数材	「プレ	ーミエ ドイツ語	総合読本(CD 付き)	」白水社				
担当教員		峯本 毎	<b></b>						
到達目	標								
		確に発音でき 吸文法の基礎 いて簡単な会	る. (小テスト,定 を習得し,平易なド 話表現ができる. (	期試験) イツ語文を理解でき 口頭試問,定期試験)	る. (課題,定期試験	·)			
ルーブ	リック								
			理想的な到達	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安			ルの目安
平価項目1		ドイツ語が正	ドイツ語が正確に発音できる.		ドイツ語がほぼ正確に発音できる.			正確に発音できない.	
評価項目2			ドイツ語の初 し,平易なド- きる	し,平易なドイツ語文を充分理解で		ドイツ語の初級文法の基礎を習得 し,平易なドイツ語文をほぼ理解で きる		ドイツ語の せず,平易な ない	初級文法の基礎を習得 ドイツ語文を理解でる
評価項目3			ドイツ語を用 ができる				ツ語を用いて簡単な会話表現 ぼできる		用いて簡単な会話表現
学科の	到達目標	票項目との	 関係						
	育到達度	目標 (C2)							
教育方法									
ドイツ語( デイツ語( 第一) データー		語は現在,ヨーロッ 術分野においては を体感させると同 術者に必要な国際	は現在,ヨーロッパを中心に約1億人の使用人口を持つ言葉であり,元来,英語とも姉妹語で共通点も多く,特に工分野においては今なお重要な言語の一つである.本講では,新しい外国語の授業を通して外国語を学ぶ楽しさや 体感させると同時に,英語圏とは異なった社会や文化にも目を向けながら,ドイツ語の基礎力の習得と共にこれか 者に必要な国際性と幅広い視野の育成を目ざす.						
			国語の授業を通して外国語を学ぶ楽しさや面白さを体感させると同時に,英語圏とは異なった社会や文化にも目がら,ドイツ語の基礎力の習得と共にこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の育成を目ざす.						
		1/4/11/11/1	なから トイツ語の	)基礎力の習得と共に	これからの技術者に	必要な	国際性と幅	広い視野の育	成を目ざす.
注意点		更なる ,日頃た	発音の習得と基本 いら復習と音読練習	文法の理解をめざし, を心がけること.課題	授業に集中して取り	)組むと	同時に復習	を心がけるこ	
		更なる ,日頃た	発音の習得と基本	文法の理解をめざし, を心がけること.課題	授業に集中して取り	)組むと	同時に復習	を心がけるこ	 と.「継続は力なり」
評価		更なる ,日頃た	発音の習得と基本 いら復習と音読練習	文法の理解をめざし, を心がけること.課題	授業に集中して取り	)組むと	同時に復習	を心がけるこ	 と.「継続は力なり」
評価	画	更なる, 日頃た施方法	発音の習得と基本 いら復習と音読練習 は,授業において指	文法の理解をめざし, を心がけること.課題	授業に集中して取り	)組むと 計価が	同時に復習 40〜59	を心がけるこ 点の者に対し	 と.「継続は力なり」
評価	画	更なる。日頃た施方法	発音の習得と基本 いら復習と音読練習 は,授業において指 授業内容	文法の理解をめざし; を心がけること.課題 示する.	授業に集中して取り	)組むと 計価が 週ごと	同時に復習 40~59 の到達目標	を心がけるこ 点の者に対し	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. !
評価	画	更なる。日頃大施方法	発音の習得と基本 いら復習と音読練習 は、授業において指 授業内容 動詞の現在形(	文法の理解をめざし, を心がけること.課題	授業に集中して取り	)組むと 計価が 週ごと 不規則	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の人称	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で	と.「継続は力なり」ては, 再試験を行う. :
評価	画	更なる 月頃 施方法 週 1週 2週	発音の習得と基本から復習と音読練習は,授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞	授業に集中して取り	)組むと 評価が 週ごと 不規則 人称代	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の人称 名詞の基本	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる.
評価	<b>唐</b>	更なる ,日頃か 施方法 週 1週 2週 3週	発音の習得と基本 から復習と音読練習 は、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配	授業に集中して取り	)組むと 合評価が 週ごと 不規則 人称代 前置詞	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の人称 名詞の基本 の格支配の	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. 解できる.
評価		更なる ,日頃が 施方法 週 1週 2週 3週 4週	発音の習得と基本 いら復習と音読練習 は、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 4,3格,4格支配 ,4格支配	授業に集中して取り	別組むと 計評価が 週ごと 不規則 人称置詞 注意す	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の基本 の相支配の べき前置詞	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理 の用法が理解	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. 解できる. できる.
評価	画 3rdQ	更なる 月頃な 施方法 週 1週 2週 3週 4週 5週	発音の習得と基本 から復習と音読練習 は、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞(	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1)	授業に集中して取り	利組むとが 通ごと 不規則 人称置 す 助動詞	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の基本 の格支配の べき前置詞 の基本構文	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理 の用法が理解 が理解できる	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. 解できる. できる.
評価		更なる 月日頃か 施方法 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	発音の習得と基本 から復習と音読練習 は、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( 話法の助動詞(	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1)	授業に集中して取り	)組むとが 週ご規則 人称置 対 動動 助動詞	同時に復習 40~59 の到達目標 動詞の基本の の格支配の べき前置詞 の基本構文 の意味と用	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会話	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. : きる. きる. 解できる. できる. ができる.
評価		更なる 月日頃か 施方法 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	発音の習得と基本から復習と音読練習には、授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( エルア定詞	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1)	授業に集中して取り	回記された。 通ごと 不規則代 前置意す 助動詞 ないて ないて ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで	同時に復習 40~59 の到達目標動詞の基本の格支配の でき前置詞 の基本構文 の意味と用 詞の意味と用	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会話 用法を理解で	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. : きる. きる. 解できる. できる. ができる.
評価 授業計		題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	発音の習得と基本から復習と音読練習には、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( エルアで記 対離動詞(1)	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1)	授業に集中して取り	回記された。 通ごと 不規則代 前置意す 助動詞 ないて ないて ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで	同時に復習 40~59 の到達目標動詞の基本の格支配の でき前置詞 の基本構文 の意味と用 詞の意味と用	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会話	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. : きる. きる. 解できる. できる. ができる.
評価 授業計		更なる 月日頃か 施方法 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	発音の習得と基本 から復習と音読練習 には、授業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( まはの助動詞( ない不定詞 分離動詞(1) 後期中間試験	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1) 2)	授業に集中して取り	週 記 規 記 規 れ が 置 意 動 動 動 な な の れ の こ れ の こ れ の こ れ の こ れ の る り る り る り る り る り る り る り る り る り る	同時に復習 40~59 の到詞のを 動詞のを を のべる ので のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会話 用法を理解で 文が理解でき	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. i きる. きる. 解できる. できる. ができる. : きる.
評価 授業計		題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	発音の習得と基本から復習と音読練習には、授業において指 授業内容動詞の現在形( 人称代名詞前置詞(1)24前置詞(2)3 話法の助動詞( 話法の助動詞( zu不定詞 分離動詞(1)後期中間試験 後期中間試験の	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1) 2)	授業に集中して取り	別組むとが 週 不 人 前 道 意 動 動 不 不 別 助 助 不 離 違 と 別 代 詞 す 詞 詞 定 動 動 不 離 違 記 動 動 不 離 違 と	同時に復習 40~59 の動詞の基連ののでのの詞のを を ののでのの詞のを を ののでのの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会話 用法を理解で 文が理解でき	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. i きる. きる. 解できる. できる. ができる. : きる.
評価 授業計		題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	発音の習得と基本から復習と音読練習には、授業において指 授業内容動詞の現在形( 人称代名詞前置詞(1)24前置詞(2)3 話法の助動詞( 起来定詞 分離動詞(1)後期中間試験 後期中間試験の分離動詞(2)	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (本) 4格支配 (本) 2) (解答と解説	授業に集中して取り	別組むにが 週で現代記 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	同時に復習 40~59 の到詞の基連のべのの詞のを を のがあるのでのの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる 法を学び会解で 文が理解できる.分离	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う きる. きる. できる. できる. ができる. きる.
評価 受業計	3rdQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	発音の習得と基本 から復習と音読練習 には、授業において指 一般である。 一をなる。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をな。 一をなる。 一をな。 一をな。 一をな。 一をな。 一をな。 一をな。 一をな。 一をな。 一を、 一を、 一を、 一を、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (本) 4格支配 (本) 2) (解答と解説	授業に集中して取り	別組む価が 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の	同時にである。 の動詞にである。 の動詞には、ののでののでのののでのの。 をは、ののでは、は、できる。 できる。 できまする。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	を心がけるこ 点の者に対し 変化が理解で 用法が理解で 基本用法が理解 が理解できる話 用法を実理解で 文が理解でき なが理解できる。分別 の表表が理解できる。 が知る。 が知る。 が知る。 が知る。 が知る。 が知る。 が知る。 が知	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. きる. きる. できる. ができる. ができる. きる. をきる. できる.
評価 授業計		更なる 円頃が 施方法 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	発音の習得と基本 から復選において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( 話法の助動詞( zu不定詞 分離動詞(1) 後期中間試験 後期中間試験の分離詞(2) 動詞の三基本形 現在完了(1)	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (本) 4格支配 (本) 2) (解答と解説	授業に集中して取り	A組む価	同時に259 の動詞に259 の動詞に259 の動詞に259 の動詞に259 の動詞に259 の動詞に259 のの可言に259 のの可言に259 に259 のの可言に259 に259 に259 に259 に259 に259 に259 に259	を心がけること を心者に対けること 変化が理解で 用法が理解で 基本用法ができる 活を学び理解で 法を実を理解で を対しまする。 が理解で を対しまする。 が理解で を対しまする。 を対しまする。 を対しまする。 が理解で を対しまする。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 をする。	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. : きる. きる. かできる. ができる. きる. る. をきる. る.
評価 授業計	3rdQ	題 国 国 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	発音の習得と基本 から復業において指 授業内容 動詞の現在形( 人称代名詞 前置詞(1)24 前置詞(2)3 話法の助動詞( 話法の助動詞( エ不定詞 分離動詞(1) 後期中間試験 後期中間試験 後期中間試験の 分離動の三基本形 現在完了(1) 現在完了(2)	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (本) 4格支配 (本) 2) (解答と解説	授業に集中して取り	A組む価 週 不人前注助助 スト 間が動現 現 現 現 元 ま の 完 完	同時に復習 40~59 の到詞詞記を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述	を心がけること を心がまた。 変化が理解で 用法本用法が理解が理解が理解がまた。 所できる。分別では、 ののでは、 のでは、	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. かできる. ができる. さる. る. ができる. できる. できる. できる.
評価 授業計	3rdQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週	発音の習得と基本 で	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (本) 4格支配 (本) 2) (解答と解説	授業に集中して取り	A組む価 週 不人前注助助 スト 間が動現 現 現 現 元 ま の 完 完	同時に復習 40~59 の到詞詞記を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述	を心がけること を心者に対けること 変化が理解で 用法が理解で 基本用法ができる 活を学び理解で 法を実を理解で を対しまする。 が理解で を対しまする。 が理解で を対しまする。 を対しまする。 を対しまする。 が理解で を対しまする。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 を対しまる。 をする。	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. かできる. ができる. さる. る. ができる. できる. できる. できる.
評価 授業計	3rdQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週 15週	発音の習得と基本 で	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (また) 不規則動詞 各,3格,4格支配 1) 2) 解答と解説 ,過去形	授業に集中して取り	A組む価で現称置意動動へ離違で詞在在続います。 とが、と則代詞す詞詞定動・えきの完完詞	同時に259の動名のべのの詞詞のを基準のの動詞のを動詞のを動きを表すのである。 世界のでは、一般のでは、一	を点の者に対けていること 変化がけに対けに対けに対けに対けに対けに対けに対けに対けてが、対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. i きる. きる. できる. ができる. さきる. る. 動詞を用いて会話表すできる. できる.
評価 授業計	3rdQ 4thQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	発音の習得と基本語には、 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (また) 不規則動詞 (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (大) 4格支配 (大) 4格支配 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	授業に集中して取り	A組む価で現称置意動動へ離違で詞在在続います。 とが、と則代詞す詞詞定動・えきの完完詞	同時に復習 40~59 の到詞詞記を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述	を点の者に対けていること 変化がけに対けに対けに対けに対けに対けに対けに対けに対けてが、対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対け、対しては対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. かできる. ができる. さる. る. ができる. できる. できる. できる.
評価 授業計	3rdQ 4thQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 14週 15週 14週 15週	発音の習得と基本 で	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (示する. (本) 不規則動詞 (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (大) 1) (大) 2) (解答と解説 (別) 2) (解答と解説 (別) 2 (別) 2 (別) 3 (別) 3 () 3 ()	授業に集中して取りを全て提出し、総合	組む価 選不人前注助助zu分間が動現現接 が動えきの完完詞	同時に259の動名のべのの詞詞のを基準のの動詞のを動詞のを動きを表すのである。 世界のでは、一般のでは、一	を点の者に対けに対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. かできる. ができる.
評価 授業計	3rdQ 4thQ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	発音の習得と基本 で	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (また) 不規則動詞 (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (大) 4格支配 (大) 4格支配 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	授業に集中して取りを全て提出し、総合	組む価 選不人前注助助zu分間が動現現接 が動えきの完完詞	同時に259の動名のべのの詞詞のを基準のの動詞のを動詞のを動きを表すのである。 世界のでは、一般のでは、一	を点の者に対けに対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に対対に	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. かできる. ができる. さる. る. ができる. できる. できる. できる.
評価 授業計	3rdQ 4thQ コアカリ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 Jキュ 分野	発音の習得と基本語では、 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (本) 不規則動詞 (本) 3格,4格支配 (4) 4格支配 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	授業に集中して取りませる。	A 記述 とが とり は で は ない とり は で は ない とり は で 記 ない かい とり 代 記 すい 動 ない で 記 で 記 ない ない とり 代 記 すい 記 で 記 で 記 で 記 で 記 で 記 で 記 で 記 で 記 で 記	同時に(59)の動名のべのの詞詞のを登り、	を点のででで理解を点が出ていることを点が出ている。 変化ががまれる 理解できる がまれる 理解を表する がままます できる がままます から	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. ! きる. きる. きる. ができる. できる. る. 動詞を用いて会話表すできる. できる. できる. できる. できる.
評価 授業計 グアン・カー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	3rdQ 4thQ コアカリ	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 ノキュ 分野	発音の習得と基本では、 一般では、できないでは、できる。 一般では、できないでは、できないでは、できる。 一般では、できないできないできないできないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、ではないでは、できないでは、ではないでは、ではないではでは、できないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではない	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (本) 不規則動詞 (本) 不規則動詞 (本) 4格支配 (大) 4格支配 (大) 2) (新) 2) (解答と解説 (別達目標) (対) 2 で図内容の到達目 (相互評価)	授業に集中して取りを全て提出し、総合	組却価	同時に259の動名のべのの詞詞のを基準のの動詞のを動詞のを動きを表すのである。 世界のでは、一般のでは、一	を点の者に対対してでで理解を記述している。 変化がが出来のが法を用いてでで理解ができる。 がはいる かん 理解ができる がはいる かん 理解ができる がいままが できる がいままが できる がいまま 理解できる がいまま 理解できる がいまる かいまま 理解できる かいまま 理解できる かいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます は	と.「継続は力なり」 ては, 再試験を行う. st きる. きる. をきる. できる. できる. る. を動詞を用いて会話表現できる. できる. ができる. できる. できる.
評価 授業計 グラ ガラ ガラ がっこう がっこう かいっこう かいりょう かいり かいりょう かいり	3rdQ 4thQ コアカリ	題 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	発音の習得と基本語には、 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1) 2) 解答と解説 ,過去形 解答と解説  達目標  学習内容の到達目 相互評価 0	授業に集中して取りを全て提出し、総合	組却価	同時に(59)の動名のべのの詞詞のを登り、	を点のを点のででで理解を活がでいることをはいる。 変化ががまれる はいができる かい できる がは いっぱい できる がい できる かい しゅう	さ. 「継続は力なり」 ては、再試験を行う. 3 きる. きる. できる. できる. る. を動詞を用いて会話表現できる. できる. できる. できる. できる. できる.
評価 授	3rdQ 4thQ コアカリ 合 割合	題 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 ノキュ 分野	発音の習得と基本を 一般では、 一をは、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 (表) 不規則動詞 (表) 3格,4格支配 (4 格支配 (1) 2) (解答と解説 (過去形) (対) 達目標 (学習内容の到達目 (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力) (力)	授業に集中して取り で全て提出し、総合 まででは出し、総合 はを全て提出し、総合 はできては出し、総合 はできては出し、総合 はできては出し、総合	組却価	同時に(59)の動名のべのの詞詞のを登り、	を点の者に対対していることを点がます。 変化が理解ででは対すでは、対理をは、対理をは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	さ. 「継続は力なり」 ては、再試験を行う. Si きる. きる. ができる. ができる.
評価 授業計	3rdQ 4thQ コアカリ 合 割合	題 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	発音の習得と基本語には、 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	文法の理解をめざし, を心がけること.課題 4) 不規則動詞 8,3格,4格支配 ,4格支配 1) 2) 解答と解説 ,過去形 解答と解説  達目標  学習内容の到達目 相互評価 0	授業に集中して取りを全て提出し、総合	組却価	同時に(59)の動名のべのの詞詞のを登り、	を点のを点のででで理解を活がでいることをはいる。 変化ががまれる はいができる かい できる がは いっぱい できる がい できる かい しゅう	さ. 「継続は力なり」 ては、再試験を行う. 3 きる. きる. できる. できる. る. を動詞を用いて会話表現できる. できる. できる. できる. できる. できる.